



形状バツフルでPatagonia ジャケットを修理する方法

このガイドでは、形状バツフルを使ってNano Puff...

作成者: Brittany McCrigler



はじめに

このガイドでは、形状バツフルを使ってNano Puff®ジャケットを補修する方法を説明します。このガイドで修理するバツフルは長方形ですが、どの形でも手順は同じです。このガイドでは、衣服を解体せずにバツフルにパッチを当てる方法を紹介します。つまり、ジャケットの裏地に補修用のステッチが見えることになります。ステッチを見せたくない場合は、[ジャケットを開くガイド](#)をご覧ください。(ジャケットを開くと、この修理の難易度は上がり、時間もかかります)。おそろいの糸を選べば、裏地の修理糸はほとんど目立たないはずですが、選択はあなた次第です。裁縫は初めてですか？[ソーイング用語集](#)をご覧ください。

交換部品やその他のサポートについては、[Patagoniaカスタマーサービス](#)にお問い合わせください。

🔧 ツール:

Iron (1)
Sewing Machine (1)
万能ハサミ (1)

⚙️ 部品:

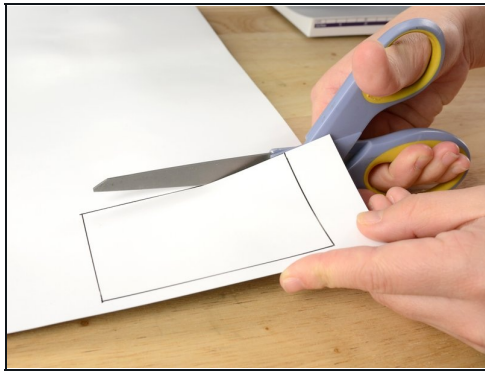
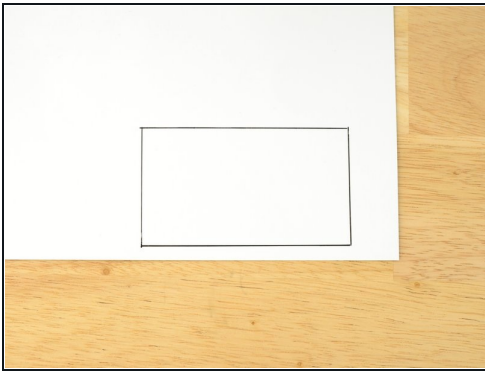
Replacement Fabric (1)
Card-stock (1)

手順 1 — 形状バツフルでPatagonia ジャケットを修理する方法



- ほつれた糸や生地を切りながら、傷んだ箇所を確認します。
 - ① 写真のジャケットには2つのバツフルに穴が1つずつありますが、ここでは1つの穴を修理します。
- あて布を用意します。
 - ① ここではわかりやすいように明るい色を選んでいきます。
- あて布に合う糸を選び [ミシンにセット](#)します。
- ジャケットの裏地の色に合う糸を選び、[ボビンに巻きつけミシンにセット](#)します。

手順 2



- 厚紙にバッフルの形をトレースします。
- トレースしたバッフルの形を切り取り、型紙として使います。
- ジャケットのバッフルの上に置き、形と大きさが正しいか確かめます。

手順 3



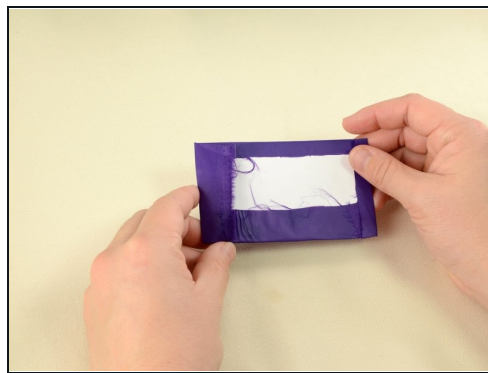
- 素材（ここではナイロン）に適した温度で、[あて布にアイロンをかけます](#)。
- あて布に型紙を置き、6～12ミリ幅の縫いしろを入れます。
- 6～12ミリ幅の縫いしろの幅を含めて生地を切り取ります。

手順 4



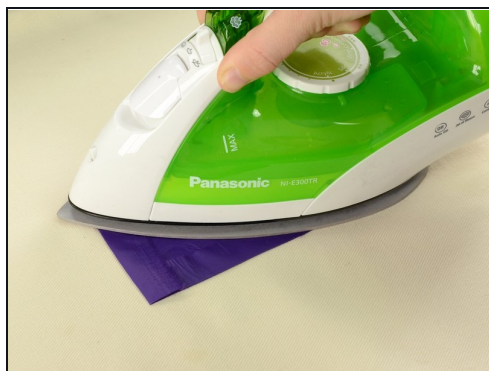
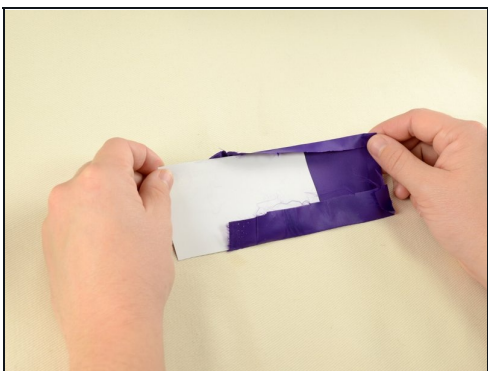
- 型紙をあて、縫いしろを折ります。
- 折った縫いしろにアイロンをかけます。

手順 5



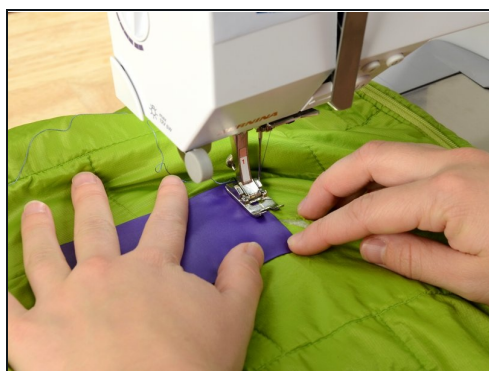
- 4 辺とも折ってアイロンをかけます。

手順 6



- 型紙を取り出します。
- 再度縫いしろを折ります。
- 縫いしろ側を下にしてアイロンをかけます。

手順 7



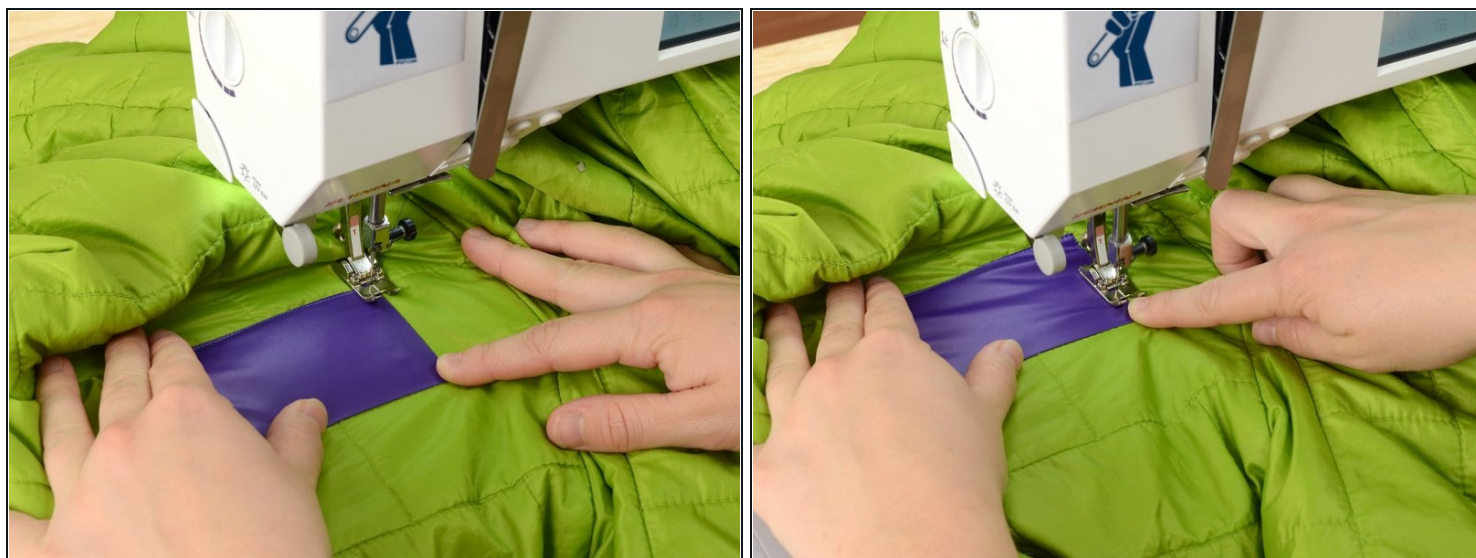
- バッフルにあて布を並べます。
- ジャケットをミシンに置きます。
 - ① ステッチからインサレーションが出ないように、極細の針を使用します。
- ミシンの針を沈め、あて布の位置を固定します。
 - ① インサレーションが出るのを防ぐために、あて布にはまち針を使わないでください。
- あて布を押さえながら生地の手端を縫います。

手順 8



- 角にたどり着いたらミシンの針を沈めます。
 - 針を生地に挿したまま押さえ金を上げ、あて布を揃えながら慎重に90度回転させます。
 - 押さえ金を下ろして縫いつづけます。
- ① あて布を所定の位置に押さえながら縫います。

手順 9



- 次の角でも同様に、針を挿したまま押さえ金を上げて生地を回転させます。
- 押さえ金を下ろして3辺目を縫います。

手順 10



- 最後の角でもステップ 9 を繰り返して 4 辺目を縫います。
- 最後に折り返し縫いをします。

手順 11



- 針と押さえ金を上げます。
 - 糸を切って、完成です。
-